

令和 7 年 3 月 3 日

有田市長 玉木 久登 様

有田市長期総合計画審議会

会長 雑賀 清秀

第 5 次有田市長期総合計画後期基本計画（案）について（答申）

令和 7 年 1 月 23 日付け有市経第 1186 号で諮問のありました「第 5 次有田市長期総合計画後期基本計画」（以下「本計画」という。）について、当審議会で 2 回にわたり審議しました。第 1 回では重点プロジェクトについて審議した後、分科会方式を取り入れ、より専門的な知見から基本計画について審議を行い、第 2 回ではこれまでの審議を踏まえ一部修正を加えて、本計画について審議会として可決いたしました。

審議の結果を踏まえ、下記の意見を付して答申いたします。

記

有田市においては、令和 3 年 3 月に第 5 次有田市長期総合計画の基本構想及び前期基本計画を策定され、目指すべき将来都市像として示した「人が輝き まちが色づく 魅了都市 ありだ」の実現に向けて施策を推進されています。

前期基本計画の策定から 4 年が経過し、人口減少、少子高齢化をはじめ、有田市のおかれる状況はますます厳しいものとなっています。その中で、目指すべき将来都市像を実現していくためには、DX の推進や官民連携の促進を含めた行財政運営のより一層の効率化に加え、社会経済環境を見極めた上で有田市の地域特性に応じた効果的な施策を推進し、持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

前期基本計画における目標値については、未達成の項目が多く見受けられました。本計画において新たに目標を設定した以上、その達成に向けて一層の努力を重ね、確実に取り組んでいただくことを強く要望します。また、掲げられた指標に基づく PDCA サイクルを常に意識し、計画の進捗を継続的に管理するとともに、進捗状況に応じて施策を見直すなど必要に応じて柔軟に対応し、掲げた指標の達成に向けて取り組まれることを要望します。